

キャンパス・セクハラ対策 啓発・研修・相談業務の活性化

2002年10月31日(木)

時間	講義項目
13:00 ~ 14:00	<p>[事例報告] 共愛学園前橋国際大学における全学的取り組みの実際 ~学生参加による体制づくり、学内研修、外部専門家との連携~ 共愛学園前橋国際大学 大森 昭生</p> <p>1. 背景 ~学生中心主義とフラットな学生・ティーチングスタッフ・マネジメントスタッフ間関係</p> <p>2. ガイドラインづくり (1) 学生参加の作成プロジェクトチーム (2) 学生参加による効果 (3) 数度にわたる全スタッフでの確認と合意形成</p> <p>3. 体制づくりと学内研修 (1) 防止対策体制をガイドラインに明記 (2) スタッフ全員参加の研修 (3) 防止対策委員・相談員の研修</p> <p>4. 外部専門家との連携の必要性 (1) 相談者の視点に立った相談システムのために (2) 調査プロセスの客観性・公平性のために (3) 日常的なアドバイスを得るために</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
14:10 ~ 15:10	<p>[事例報告] 立教大学における男女共同参画型キャンパスへの推進 ~ジェンダーフォーラム発足、女性職員としてのエンパワーメント~ 立教大学 松島 理恵</p> <p>1. セクシュアル・ハラスメント防止対策の取り組み (1) 組織 (2) 活動概要 (3) 課題</p> <p>2. 「立教大学ジェンダーフォーラム」とは (1) 「研究所」ではなく「フォーラム」 (2) 実施プログラム (3) 正課授業での取り組み (4) 事務局体制</p> <p>3. 構造改革と意識改革 (1) 大学のジェンダー構造 (2) 職員の役割</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>
<p>コーヒープレイク</p>	
15:20 ~ 16:30	<p>[提言] キャンパス・セクシュアル・ハラスメント最新動向と今後の課題 ~全国ネット“提言”をふまえて~ 国際基督教大学 田中 かず子</p> <p>1. 大学の取り組みの現状 (1) 全国調査中間報告書から (2) 加害者処分が中心</p> <p>2. 被害者の権利回復という視点 (1) 被害者の実態 (2) 二次加害・二次被害 (3) 権利回復するために</p> <p>3. 全国ネットからの提言 (1) 被害者の視点から (2) 二次加害・二次被害をおこさないために</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>

16:40 ~ 17:50	<p>[アウトソーシング] セクハラ相談・カウンセリング業務の実際 ~ 学内委との連携・共働、啓発研修の取り組み~ フェミックス 稲邑 恭子</p> <p>1. 連携・協力関係をつくるために (1) 外部専門家はなぜ必要か (2) 連携・協力のしかた</p> <p>2. 二次被害を起こさない相談体制をつくるために (1) 相談窓口で (2) 調査段階で (3) 今後の課題</p> <p>3. 予防教育・啓発活動の重要性 (1) パンフレット作成/配布 (2) 研修プログラムをつくる (3) 予防教育の可能性 質疑応答</p>
18:00 ~ 19:00	<p>***** 交流パーティ *****</p> <p>語り合う 苦勞、泣き笑い、そして明日 大森、松島、稲邑 の各講師陣を囲んで</p>